東京都公立小学校長会

令和６年１０月１日

**・学校経営力の向上　　・リーダーシップの発揮　　・職能団体としての自覚と責任**

第５回　地区代表校長連絡会　資料　役員会　資料

会長代理　荒川　元邦

**１　はじめに**

**○　都政新報社取材　「教職員のメンタルヘルスについて」（抜粋）**

**①　都小として教員のメンタル不調の現状をどう認識しているか。**

**・　都小による令和５年度年度調査では、1081校のうちメンタル不調があったと答えたの　は535校（49・５％）。**

**・　メンタル不調の要因は「保護者対応や学級経営、児童への指導・対応」が一番多く、「教員間のコミュニケーション不足」「職務遂行の不安」と続いた。**

**②　コミュニケーションを促す取組は。**

**・　東京都教育委員会が今年度から、新規採用職員を対象に悩みなどを相談できるメンター制度を導入した。若手教員と年齢が近い人がメンターを務めるので、コミュニケーションが取りやすく、相談もしやすくなる。効果が大きいと思う。**

**③　コミュニケーションを図る取り組み以外、何を行っているか。**

**・　教員のメンタルヘルス対策では働きがいと働きやすさを車の両輪として捉え、教員が気持ちよく働けるよう取り組んでいる。**

**・　働きがいを持つには教員のプロになる必要がある。「１万時間の法則」と言われるように、プロと呼ばれるには長時間の研究や修練を積み重ねる努力が必要だ。さらに、教員には指導力やコミュニケーション能力も求められる。**

**○　島しょ地区訪問の意義と価値**

**①　島しょ地区訪問の目的**

**・　新島地区の小学校を視察し、当該地区における学校教育の現状を把握する。**

**・　当該地区の教育委員会及び校長会との懇談を通して島しょ地区における課題等を把握し、東京都公立小学校長会の活動に役立てる。**

**②　島しょ地区訪問の意義と価値**

**・　都小役員会として、島しょ地区訪問をとても重要な機会と位置付けている。**

**→　実際に見聞きして分かる、島しょ地区の現状・課題及び校長先生方のご苦労。**

**→　島しょ地区の先生方や教育委員会の皆様との交流。**

**→　都教委や議会等の要望活動に生かしていく。**

**＊　丁寧にご対応いただいた、新島村教育委員会 前田裕二教育長、小川 晋教育課長、新島村立新島小学校 荒木憲秀校長先生、式根島小学校 岡田知樹校長先生、神津村立神津小学校 松倉淳之介校長先生には、あらためて感謝。**

**２　会務報告　〔都小関係〕**

**９月　５日（木）　令和６年度 第２回人権教育特別委員会教育講演会**

**９月１２日（木）～１３日（金）　島しょ地区訪問（新島地区）**

**９月２５日（水）　第６回 役員会**

**３　今後の予定 〔都小関係〕**

**１０月　４日（金）　関ブロ 第３回理事会**

**１０月１１日（金）～１２日（土）　日本教育会 第49回 全国教育大会静岡大会**

**１０月１５日（火）　第７回 役員会**

**１０月２３日（木）～２５日（土）　第76回全国連合小学校長会研究協議会 徳島大会**

**１１月　５日（火）　第２回 地区校長会長連絡会**